

全身疾患との関連が指摘されている 歯周病菌 (*P. gingivalis*) が胃液中にも存在した！

(株) フレンテの事業会社である (株) フレンテ・インターナショナル (本社：東京都板橋区／社長：小池孝) は、唾液中の細菌叢と胃液中の細菌叢を比較し、口腔内細菌叢が胃内細菌叢の形成に影響を与えることについての研究成果を第 57 回秋季日本歯周病学会学術大会 (神戸) にて発表いたしました。

今まで胃液中は強酸性であることから、唾液中に存在する細菌を飲み込んでも、大半の細菌は死滅すると考えられていました。しかし、胃酸の分泌を抑制する薬剤 (PPI: プロトンポンプインヒビター、H2 ブロッカー等) 服用時には胃液の pH は高くなることから、胃液中の細菌数が多くなることが考えられます。

そこで今回の研究で、唾液と胃液の細菌叢を 16S rRNA 遺伝子配列を用いた網羅的な解析で比較したところ、極めて類似の細菌叢であることが判明しました。さらに、歯周病に関連する細菌が、口腔内だけでなく胃液中にも存在しており、特に全身疾患との関連が指摘されている歯周病の原因菌、*P. gingivalis* が胃液中にも存在することが発見されました。

今まで *P. gingivalis* などの歯周病原細菌は、胃酸で死滅すると考えられていました。しかし今回胃液中で発見されたことにより、口腔内だけではなく消化器管内より全身へ影響を及ぼす可能性が示唆されました。

当社では、今回の研究結果より、口腔内細菌叢をコントロールすることによって胃内細菌叢をコントロールし、胃液中の病原菌等を制御できるのではないかと考えています。具体的には、当社保有の口腔内プロバイオティクスである乳酸菌 LS1 を用いて、口腔内細菌叢から胃内細菌叢をコントロールし、消化器管内から発生するリスクを低減し、全身の健康をサポートすることができるのではないかと考えております。当社では、今回の研究結果を新たな発見として、さらなる研究を推進していきたいと考えております。

【読者からのお問い合わせ先】

株式会社フレンテ・インターナショナル
フレンテショップ
Tel.0120-749-418
受付：月～金 9：00～17：00

【報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社フレンテ・インターナショナル
広報課：小幡／山口
Tel.03-3979-2112 Fax. 03-3979-2156
〒175-0094 東京都板橋区成増 5-9-7